

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2020年5月18日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

はじめて学ぶ建築構造力学

正誤対象

お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

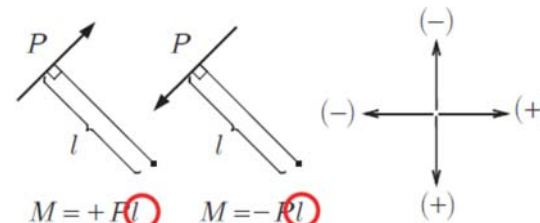
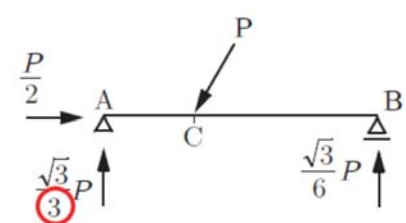
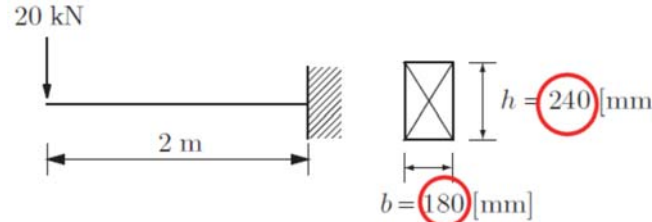
お持ちの本の刷数				
1	対応刷数	1	より	3 までをご参照ください
2	対応刷数	2	より	3 までをご参照ください
3	対応刷数	3		をご参照ください
それ以降				現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
2	5	図 1.9	右図のように	
3	25	例題 2.5 解答 最終行	$\therefore H_A = 5 \text{ [kN]} (\rightarrow)$	$\therefore H_A = -5 \text{ [kN]} (\leftarrow)$
2	31	図 3.8	右図のように	
2	72	6 行目	…ひずみ度は $\varepsilon = -\phi y$ となります. …	…ひずみ度は $\varepsilon = \phi y$ となります. …
2	72	8 行目	… $\sigma = E\varepsilon = -E\phi y$ …	… $\sigma = E\varepsilon = E\phi y$ …
2	72	式(4.18)	$M = -E\phi \int_A y^2 dA = -EI\phi$	$M = E\phi \int_A y^2 dA = EI\phi$
2	72	図 4.15	図中に 3 つある $-d\theta$ を $d\theta$ に変更, それぞれ 1 つずつある, $-\phi y$ を ϕy に, $-\phi$ を ϕ に変更.	
2	73	2 行目	… $\sigma = -E\phi y$ …	… $\sigma = E\phi y$ …
2	75	図 4.18	右図のように	
1	87	式 (5.23)	$\theta = \frac{1}{2} \tan^{-1} \left(\frac{-2I_x}{I_x - I_y} \right)$	$\theta = \frac{1}{2} \tan^{-1} \left(\frac{-2I_{xy}}{I_x - I_y} \right)$

1	90	下から 2行目	$\tan^{-1} 2\theta = \dots$	$\tan 2\theta = \dots$
1	101	図 6.9	右のように修正	
2	105	式(6.8)	$\dots dx - w \dots$	$\dots dx + w \dots$
1	109	下から 6行目	(3) $\frac{1}{2} \times \sigma_1 \times \frac{h}{2} \times b - \frac{1}{2} \times \sigma_2 \times \dots$	(3) $\frac{1}{2} \times \sigma_2 \times \frac{h}{2} \times b - \frac{1}{2} \times \sigma_1 \times \dots$
1	109	下から 5行目	$\tau = \frac{h}{4\Delta x} \times (\sigma_1 - \sigma_2) = \dots$	$\tau = \frac{h}{4\Delta x} \times (\sigma_2 - \sigma_1) = \dots$
1	112	例題 6.6 解答 (2)	(2) $P_{k(b)} = \frac{EI}{I_k^2} = \frac{EI}{(0.5l)^2} = \frac{1}{0.25} \frac{EI}{l^2} = \dots$	(2) $P_{k(b)} = \frac{\pi^2 EI}{I_k^2} = \frac{\pi^2 EI}{(0.5l)^2} = \frac{\pi^2}{0.25} \frac{EI}{l^2} = \dots$
2	115	図 6.27 左上	右図のように	
2	140	図 7.48	(c) M 図 (d) \bar{M} 図	(c) N 図 (d) \bar{N} 図
2	142	図 7.51(c)	図(c) 左上の $v_c?$ を $u_c?$ に変更	
2	207	10.3 の 2行目	\dots ただし、はりと柱の断面は \dots	\dots ただし、はりの断面は \dots
2	207	下から 2行目	\dots ただし、はりと柱の断面は \dots	\dots ただし、はりの断面は \dots

2	211	(m)下の図	右図のように	
2	215	4.1(3)④	…=1000 [kgf/m ²]	…=1000 [kN/m ²]
2	215	5.1(d) 1,3 行目	$\dots + (3 \times 3 / 2) \times 3 = 51 \text{ [cm}^3\text{]}$ $\dots = \frac{51}{19.5} = 2.62 \text{ [cm]}$	$\dots + (3 \times 3 / 2) \times 4 = 55.5 \text{ [cm}^3\text{]}$ $\dots = \frac{55.5}{19.5} = 2.85 \text{ [cm]}$
1	217	6.1 (2)	$\sigma_c = -0.83 - 2.5 = 3.33 \text{ [N/mm}^2\text{]}$	$\sigma_c = -0.83 - 2.5 = -3.33 \text{ [N/mm}^2\text{]}$
1	222	7.2 (e)	右のように修正	
2	222	7.2 (e) 1~2 行目	$\theta_A = \dots = \frac{Pl^2}{3EI}$ $v_A = \dots = -\frac{Pl^3}{8EI}$ $\theta_C = \dots = \frac{Pl^2}{12EI}$	$\theta_A = \dots = \frac{Pl^2}{6EI}$ $v_A = \dots = -\frac{Pl^3}{16EI}$ $\theta_C = \dots = \frac{Pl^2}{24EI}$
1	222	7.2 (f)	右のように修正	

2	222	7.2 (f)	仮想荷重図中の式 $w = \frac{Pl}{2EI}$ M 図右の式 Pl	$w = \frac{Pl}{4EI}$ $\frac{Pl}{2}$
2	222	7.2 (f) 1~3 行目	$\theta_A = \dots = \frac{Pl^2}{12EI}$ $\theta_{C右} = \dots = \frac{Pl^2}{8EI}$ $v_C = \dots = \frac{Pl^3}{24EI}$ $\theta_{C左} = \dots = \frac{Pl^2}{12EI}$	$\theta_A = \dots = \frac{Pl^2}{24EI}$ $\theta_{C右} = \dots = \frac{Pl^2}{16EI}$ $v_C = \dots = \frac{Pl^3}{48EI}$ $\theta_{C左} = \dots = \frac{Pl^2}{24EI}$
2	226	8.1(a) 下から 2 行目	$\dots = v_{C2} + v_{C2} = \dots$	$\dots = v_{C1} + v_{C2} = \dots$
2	238	10.1 (d) 右中の表	D_3 の DF の値 「-0.004」を「0.004」に変更	